

山陰道（^{み す み}三隅～^{お づ き}小月）
優先区間の絞り込みについて
第2回 説明資料

平成26年6月2日

国土交通省 中国地方整備局

1. 優先区間の絞り込み検討の流れ
2. 優先区間の絞り込み方針
3. 地域の意見聴取の進め方
4. 今後の進め方(予定)

1. 優先区間の絞り込み検討の流れ

1-1. 中国地方の高規格幹線道路網

- 当該区間は、日本海国土軸の一部を担う山陰道の一部。
- 山口県長門市から山口県下関市に位置し、北側は日本海、南側は瀬戸内海に挟まれる自然豊かな地域である。

【広域図】



1-2. 優先区間の絞り込み手続きについて

- 「優先区間の絞り込み」手続きは、道路の課題等を把握した上で、特に課題が大きく緊急性が高い区間について、整備を優先的に取り組む区間として決定する手続き。
- 特に、延長が長い路線においては、整備による早期の効果発現のためには、優先的に取り組む区間を設定して整備を進めることが有効。

1-3. 優先区間の絞り込み検討の流れ

優先整備区間(案)作成までの流れ

検討区間〔三隅～小月間〕
地域および道路、交通の現状と課題の把握

優先区間絞り込みの観点
道路の現状・課題の整理

意見聴取

優先整備区間(案)の検討、選定
(※課題の大きさ、利用及び地域での位置付け、
緊急性、意見聴取結果等を踏まえ検討)

〔第1回中国地方小委員会〕
・地域および道路、交通の現状と課題
についての審議

〔第2回中国地方小委員会〕
・絞り込みの観点
・意見聴取の方法・内容
について審議

〔中国地方小委員会〕
・地域の意見を踏まえ、優先区間絞り込み
の観点による優先整備区間(案)の
妥当性審議

2. 優先区間の絞り込み方針

2-1. 優先区間の絞り込みの観点

〈視点①：課題の大きさ〉

〔地域、道路の課題〕

- ・事前通行規制や越波区間など防災上の脆弱性
 - ・事故や災害による頻繁な通行止め
 - ・急カーブ、急勾配など道路構造の問題
 - ・市街地部の速度低下
- など



〔課題を評価する指標イメージ＝課題別評価〕

- ・事前通行規制区間、越波区間、防災点検要対策箇所、浸水想定箇所
 - ・通行止め箇所と件数（事故、災害）
 - ・線形不良箇所、事故率
 - ・旅行速度データ
- など

〈視点②：利用及び地域での位置づけ〉

〔利用〕

- 日常生活
 - ・通勤通学、買物
 - 経済活動
 - ・沿線企業或いはその他企業の広域物流
 - ・当該地域に関連する広域観光
 - 緊急活動
 - ・消防、救急救命活動
- など

〔地域での位置づけ〕

- 地域の将来計画（将来像）
- など

〈視点③：緊急性〉

〔意見聴取〕

地域で緊急性が高く、対応が求められている課題を抽出

地域の情勢及び効果の早期発現を考慮

優先整備区間の絞り込み

2-2. 三隅～小月間の課題

【防災上の課題】



▲倒木発生箇所
(貴飯峠付近)



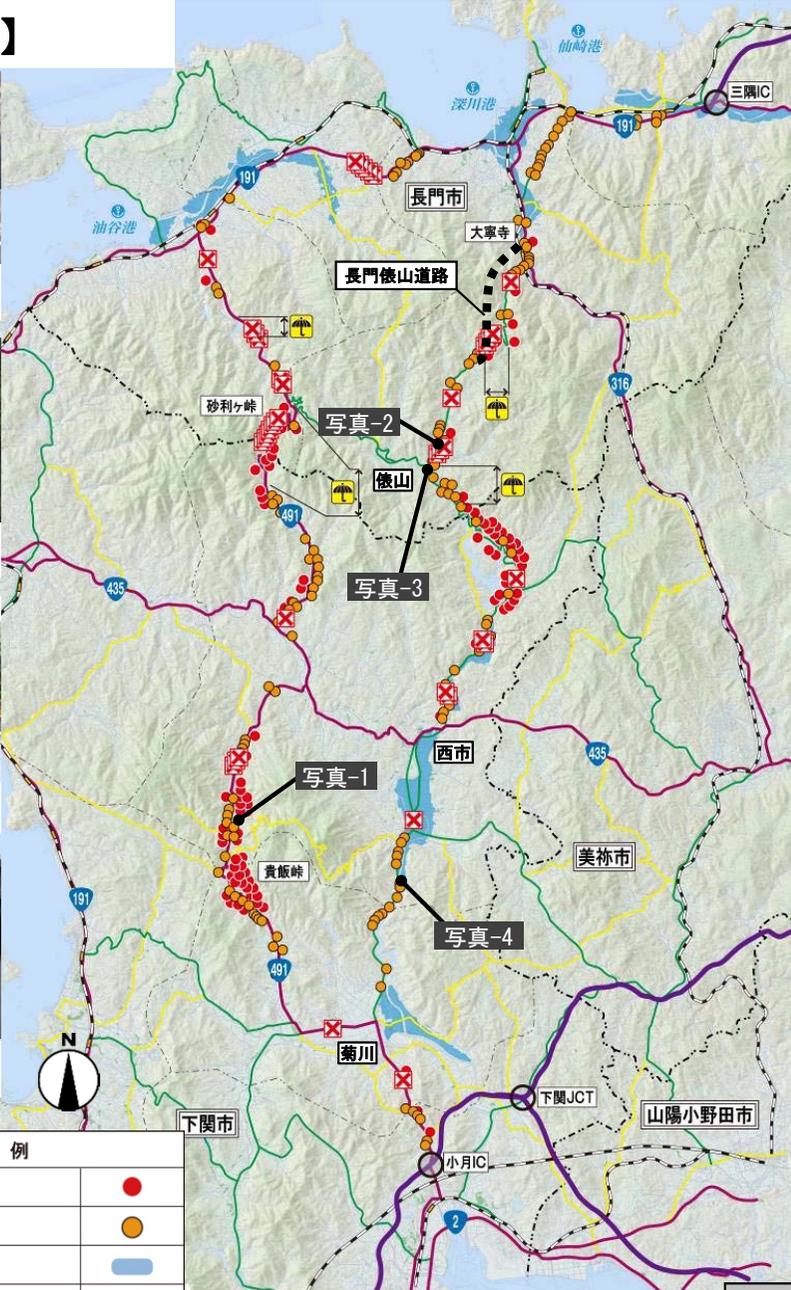
▲長門市俵山
(H22.7 被災状況)



▲長門市俵山
(H25.9 被災状況)



▲下関市豊田町
(H22.7 被災状況)



【交通・構造上の課題】



▲大型車通行困難
(砂利ヶ峠付近)



▲平面線形不良
(砂利ヶ峠付近)



▲平面線形不良
(貴飯峠付近)



▲縦断線形不良
(貴飯峠付近)



▲幅員狭小
(貴飯峠付近)



▲幅員狭小
(豊田湖沿いの葛尾隧道)



▲平面線形不良
(豊田湖付近)



▲幅員狭小
(豊田湖沿いの荒川橋)

意見聴取

【意見聴取時に確認する課題】

- 災害
- 事故
- 渋滞
- 通行止め等

3. 地域の意見聴取の進め方

3. 地域の意見聴取の進め方

1. 意見聴取の基本方針

地域及び道路・交通の課題に対する**意見を伺う**。

意見聴取の項目	把握する意見
地域及び道路・交通の課題	<ul style="list-style-type: none"> 提示した道路・交通の課題が妥当かどうか 優先的に解消すべき道路・交通の課題は何か

■アンケート配布範囲



資料：(人口) H22国勢調査

2. 意見聴取の方法と対象者

対象者・実施方法

ヒアリング	【関係自治体及び団体】関係区市町・団体へ意見照会		
	自治体：山口県、下関市、長門市	各団体：トラック協会（鳥取県、島根県、山口県、福岡県）、商工会議所（2市）、警察署、消防署、農協、学校、大型店舗 観光協会（鳥取県、島根県、山口県、福岡県）、バス会社、JR西日本	
アンケート	【地域住民】沿線地域の住民へ郵送配布（※：全戸配布実施地区）		約 27,200部
	下関市（菊川地区※、豊田地区※、小月地区※）		約 7,800部
	長門市（長門地区※、三隅地区、日置地区、油谷地区）		約 12,900部
	美祢市（美祢地区※）		約 6,500部
	【企業及び団体】沿線地域の事業所等へ郵送配布		約 3,600部
	沿線地域の企業・事業所		約 3,400部
トラック協会加盟企業（鳥取県、島根県、山口県、福岡県）		約 200部	
【道路利用者等】山口県内の道の駅及び観光施設などに常設、WEB		約 3,500部	

3. 地域の意見聴取の進め方

3. ヒアリングの調査項目と活用方針

ヒアリングの質問項目	ヒアリング結果の活用
地域及び道路・交通の課題について	<ul style="list-style-type: none">・ 地域及び道路・交通の課題とされる内容とその諸活動への影響、整備を優先すべき区間とその抽出理由について意見聴取を行い、行政又は業界と地域住民等の認識の整合性の確認をする。

4. アンケートの調査項目と活用方針

アンケートの質問項目	アンケート結果の活用
被験者属性	<ul style="list-style-type: none">・ アンケート回答者の個人属性、対象路線の利用状況を確認し、被験者の妥当性を確認する。
地域及び道路・交通の課題について	<ul style="list-style-type: none">・ 道路・交通課題のうち、解消重要度が高い課題を確認し、整備優先区間の抽出検討に反映する。・ 想定した道路・交通課題以外に被験者が考える課題について把握する。
その他自由意見	<ul style="list-style-type: none">・ その他、地域の道路に関する意見を幅広く聴取し、道路計画に反映する。

3. 地域の意見聴取の進め方

5. アンケート案

■アンケートにおける調査方法および質問内容

① 調査概要

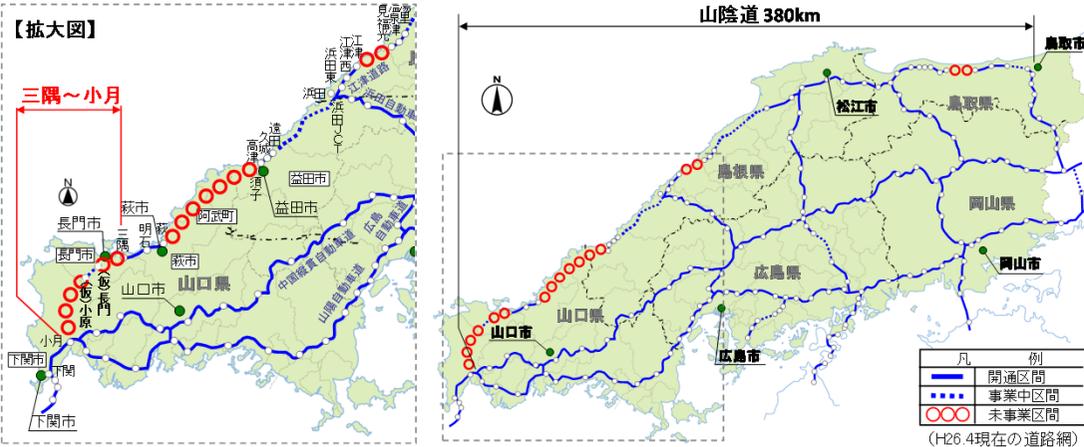
➡ 本調査の趣旨・今後の進め方・調査対象箇所の提示

地域住民用 山陰道(三隅～小月)の道路計画に関するアンケート調査 案

本調査は、山陰道(三隅～小月間)の道路計画についてより皆様の生活に役立つ道路とするため、周辺地域の皆さまにご意見を伺うアンケートです。
このアンケートは、地域の皆さまに道路交通面での課題や地域に求められる道路の役割等について、ご意見をお聞きし、優先区間の絞り込み(※優先区間の絞り込みとは、地域の交通状況や道路網の課題等を踏まえ、現在利用されている道路の課題が大きく緊急性の高い区間を優先的に整備を取り組む区間として絞り込むことです。)の検討に役立つものです。アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

今回の調査対象者は、下関市、長門市の方から、約●名を抽出しアンケートを発送し、記入をお願いするものです。送付いただいた葉書については、データ集計を山口河川国道事務所で行うこととしております。

■ 山陰道は、総延長380kmの高規格幹線道路です。
➢ 山陰道は、鳥取県鳥取市から島根県を経由し山口県下関市に至る高規格幹線道路です。
➢ 現在、山口県内では萩ICから三隅IC間が開通しており、(仮)長門ICから(仮)小原IC間の整備を国土交通省が進めています。



■ 本アンケートの対象となるのは、三隅～小月間です。
➢ このアンケートは、「三隅(山口県長門市)～小月(山口県下関市)」についてご意見を伺うものです。

② 国道491号、下関長門線(三隅～小月)の現状

➡ 対象路線の沿線地域における地域・道路の状況の提示

周辺地域と道路の現状

【道路ネットワーク交通状況】

- 三隅から小月間は高規格幹線道路ネットワークにおいて、現在事業がなされていない区間です。(※「長門俵山道路」区間については現在事業中)
- 交通量は、国道491号で約300～11,100台/日、下関長門線で2,000～9,200台/日です。

【道路の構造】

- 三隅から小月間には急な坂が11箇所、急なカーブが428箇所あります。
- 当該区間の国道491号は1車線区間が9.6km(約22%)あります。

【災害危険箇所の状況】

- 三隅から小月間には、要防災対策箇所、土砂災害の危険箇所が多くあります。

【通行止めの状況】

- 事故や災害による通行止めが10年間(H16～H25)に35回発生しています。
- 長門市俵山地区は、大雨などの異常気象時に通行規制により陸の孤島となることがあります。

3. 地域の意見聴取の進め方

5. アンケート案

■アンケートにおける調査方法および質問内容

② 国道491号、下関長門線(三隅～小月)の現状

➡ 対象路線の沿線地域における地域・道路の状況の提示



▲平面線形不良
(砂利ヶ峠付近)



▲倒木発生箇所
(貴飯峠付近)



▲幅員狭小
(貴飯峠付近)



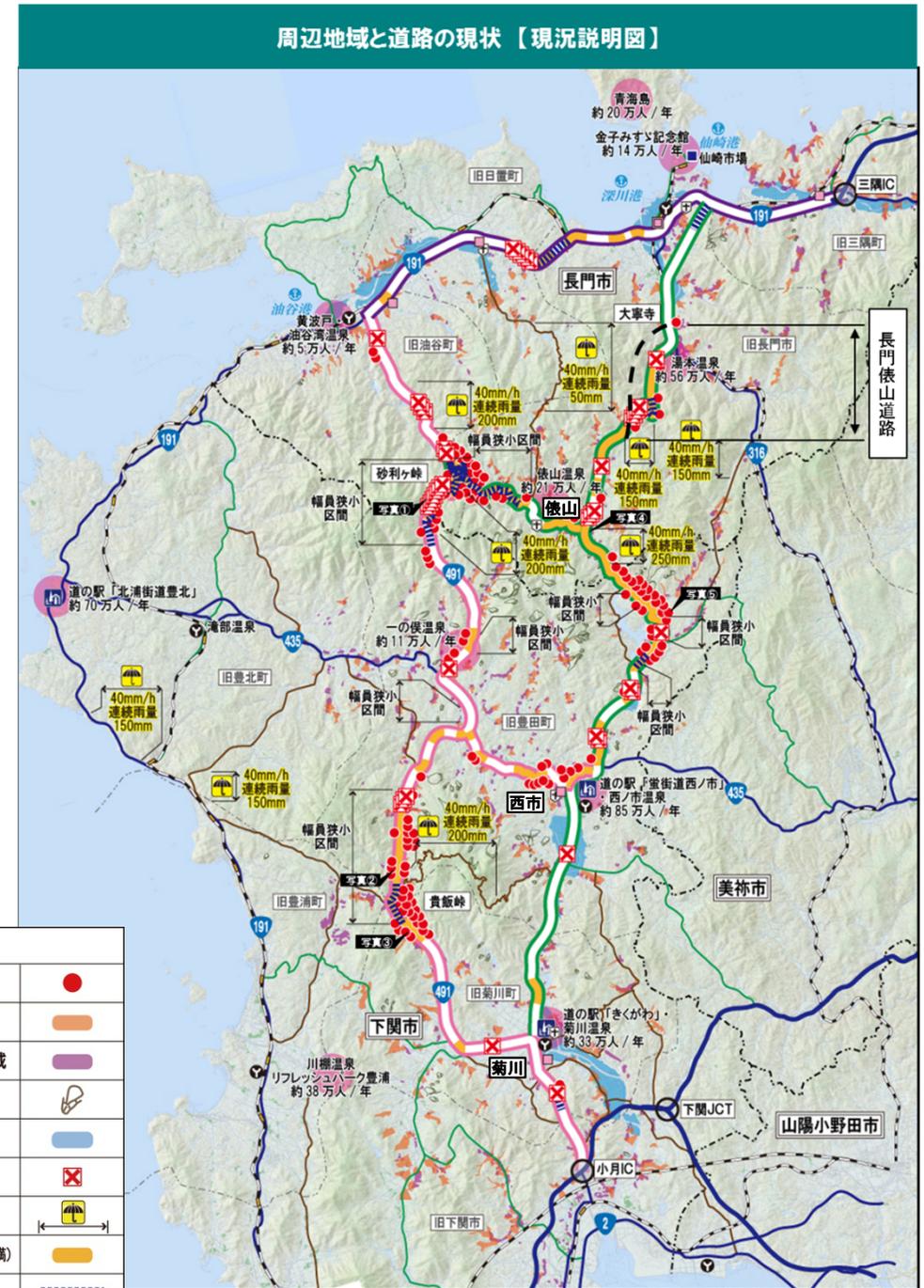
▲長門市俵山
(H25.9 被災状況)



▲幅員狭小
(豊田湖沿いの葛尾隧道)

▼国道491号・下関長門線の事故・災害通行止め

年度	概要	発生件数	規制時間
H16	災害	4件	75時間50分
H17	事前規制	3件	33時間
H18	災害	3件	4469時間30分
H21	災害・事前規制	7件	2433時間10分
H22	災害・事前規制	9件	294時間45分
H23	災害・事前規制	4件	72時間35分
H24	事故	1件	36分
H25	災害・事前規制	4件	118時間20分
合計	—	35件	7497時間46分



凡例		
防災点検対策箇所	●	
土砂災害危険箇所	土石流警戒区域	■
	急傾斜地警戒区域	■
	地滑り地形	☞
浸水想定区域	■	
災害通行止め箇所	⊠	
通行規制区間(規制基準)	☞	
平面線形不良箇所(曲線半径150m未満)	■	
縦断線形不良箇所(勾配5%以上で延長が500m以上)		

3. 地域の意見聴取の進め方

5. アンケート案

■アンケートにおける調査方法および質問内容

③ 質問事項

➡ 道路・交通課題の解消重要度

◇ 長門市から下関市間の道路(国道491号、下関長門線)に関する現在の問題点や解消すべき課題について

〈質問1〉 ①～⑥について、あなたの住む地域が抱える道路・交通の問題点や解消すべき課題があれば、最大2つまで選んで下さい。(※「該当するものがない場合」は、「⑥特になし」を回答下さい。)

【道路・交通の課題】

- ① 災害に対して弱い(災害時に通行できるかどうか不安)
- ② 通行止めの際、迂回路がなく不安(迂回路が長い)
- ③ カーブや急な坂があるため走りにくく危険
- ④ 交通事故が多く危険
- ⑤ トラックなどの地域を通過する大型交通が多く危険
- ⑥ 特になし

〈質問2〉 質問1に示した道路・交通課題以外で、あなたがお感じになる課題があれば、ご自由にお書き下さい。

◇ その他

〈質問3〉 その他、地域の道路についてあなたのお考え、ご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい。

3. 地域の意見聴取の進め方

5. アンケート案

■アンケートにおける調査方法および質問内容

④ アンケート返信用はがき

■回答方法

- ・回答は、右記の返信用はがきに記入し、切り取って郵便ポストに投函してください。

■締め切り

- ・平成●年●月●日までに投函願います。

(表面)



郵便はがき



山口県防府市国衙町1-10-20

国土交通省 中国地方整備局
山口河川国道事務所

計画課 行



◆あなた自身のごとについて【記入または該当する番号に○をつけてください】

住所 〒 - 県 市・郡 町

性別 ① 男性 ② 女性 年齢 歳代

◆検討対象路線の利用状況について【該当する番号に○をつけてください】

Q. 現在の検討対象路線の利用頻度を教えてください。
 ① ほぼ毎日 ② 週2~3回程度 ③ 月2~3回程度
 →①②③を選ばれた方は<下段>の質問へ

④ ほとんど利用しない ⑤ 利用したことがない
 →④⑤を選ばれた方は<裏面>の質問へ

Q. 検討対象路線の主な利用目的を教えてください。
 ① 通勤 ② 通学 ③ 家事・買い物
 ④ 仕事 ⑤ 観光・レジャー ⑥ その他()

Q. 目的地を教えてください。
 ① 萩市 ② 長門市 ③ 下関市 ④ 北九州市
 ⑤ その他() <裏面>の質問へ→

※)本アンケートでお答えいただいた意見および個人情報、他の目的で使用したり、第三者に使用させたりすることは一切いたしません

(裏面)

<質問1>
 ①~⑥について、あなたの住む地域が抱える道路・交通の問題点や解消すべき課題があれば、最大2つまで選んで下さい。
 【該当する箇所に○をつけてください(2つ選択)】

道路・交通の課題	回答欄
① 災害に対して弱い(災害時に通行できるかどうか不安)	
② 通行止めの際、迂回路がなく不安(迂回路が長い)	
③ カーブや急な坂があるため走りにくく危険	
④ 交通事故が多く危険	
⑤ トラックなどの地域を通過する大型交通が多く危険	
⑥ 特になし	

<質問2>
 質問1に示した道路・交通課題以外で、あなたがお感じになる課題があれば、ご自由にお書き下さい。 【自由回答】

<質問3>
 その他、地域の道路についてあなたのお考え、ご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい。 【自由回答】

4. 今後の進め方（予定）

4. 今後の進め方（予定）

第1回 中国地方小委員会

- 手続きの進め方
- 地域、道路、交通状況と課題 等

第2回 中国地方小委員会

- 優先区間の絞り込みの観点
- 地域の意見聴取の手法、内容 等

地域の意見聴取

- ・沿線地域や企業等へのヒアリング、アンケート 等

中国地方小委員会

- 優先整備区間(案)の検討・選定 等

優先整備区間の選定

【参考資料】 地域の将来像

○山口県では広域的な交流連携強化を目指した道路整備が進められている。

【ジョイロードプラン(山口県の新しい道路整備計画)】

平成16年3月策定

4つの方針

11の方策

1. 県民参加のみちづくり

① 県民の意見をみちづくりに積極的に取り入れます。

2. 広域交流を進める
みちづくり

② 空港、新幹線、港湾など広域交流拠点へのアクセス性を高めます。
・県内はもとより、国内や海外との交流を促進するため、高速道路や地域高規格道路等を整備し、広域交流拠点へのアクセス性を高めます。

3. 地域の自活を支える
みちづくり

③ 広域的な交流連携を強化します。
・県境を越え、地域の特性を生かした広域的な機能分担の下で多様な交流・連携活動が活発となるよう、隣接する福岡市や広島市等の大都市と余裕を持った交流が可能な2時間圏を拡大します。

4. 人と自然を大切にす
みちづくり

④ 地域連携を強化します。

⑤ 総合的な渋滞対策を進めます。

⑥ 個性ある地域づくりを支援します。

⑦ 防災対策を進めます。

・防災対策を進め、災害に強い道路、緊急輸送路の確保を図ります。

⑧ バリアフリー化を進めます。

⑨ 交通安全対策を進めます。

⑩ 道路案内、交通情報案内を充実します。

⑪ 沿道環境や歴史、景観に配慮します。

評価指標

空港1時間圏域人口カバー率、新幹線駅30分圏域人口カバー率

中枢都市2時間圏域人口カバー率、高速IC30分圏域人口カバー率

【参考】地域の将来像

〔道路整備の方針：長門市・下関市〕

○山陰道(三隅～小月)の沿線市では広域的な交流連携強化を目指した道路整備が進められている。

【長門市の将来像】

交通体系の整備の方針

- ・長門広域都市圏における圏域間交流を通じた地域活性化を図るために、他都市との連携を促進する総合的な広域交通ネットワークの充実・強化に努める。
- ・災害時における孤立の解消や救急医療など、地域住民の安心・安全の確保のために代替ルートが確保できるよう、広域交通ネットワークや生活圏内の道路網の整備に努め、ライフラインとしての機能の充実を図る。

主要な施設の配置方針／

1) 道路

【広域幹線道路】

- ・市街地南部を東西方向に走り、広域的な道路としての役割を担う道路として、山陰自動車道、国道191号を位置づけるとともに、南北軸としての国道316号を位置づける。

【地域幹線道路】

【都市内骨格道路】

【下関市の将来像】

交通体系の整備方針／

1) 基本方針

①交通渋滞を解消する主要幹線道路網の構築

- ・国道などの主要幹線道路等は、九州方面、山陽・山陰方面への通過交通を処理するとともに、沿道利用などにより本市の都市の骨格を形成する重要な役割があることから、現在の慢性的な交通渋滞の解消を図りつつ、都市の効率的な都市活動を支える基盤として整備を図ります。

②身近な生活道路の整備推進

③歩行者や自転車が安全に快適に利用できる道路空間の確保

④災害などの緊急時に対応できる交通施設の整備

- ・台風や大雨、地震などの災害によって公共交通機関の機能不全や道路の崩壊などの発生が懸念されるため、緊急物資や緊急車両の移動が可能な道路及び代替道路等の整備を図ります。

⑤広域連携及び地域連携を促進する交通ネットワークの構築

- ・九州方面、山陽・山陰方面との連携を強化する高規格道路網の構築や鉄道利便の向上を図るとともに、インターチェンジなどの広域的な交通拠点と都市拠点等とのアクセス機能を向上させ、広域的な交流を支える交通体系の確立を図ります。

⑥観光ルートにおける道路機能の強化

- ・観光地を多く有する本市においては、観光振興・交流促進を図るため、観光ルートにおける道路機能の強化や道路景観に配慮した取り組みを推進します。

(資料:長門都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針__H24.3)

(資料:下関市都市計画マスタープラン__H22.1)